

自主防災かわら版 2021-8号②

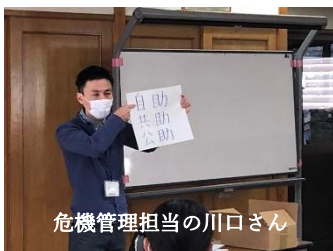
<【報告】はるひ野町内会住民防災講座>
テーマは「防災×アウトドア」

積雪が心配されましたが、気持ちよく晴れた青空の下、2022年2月12日（土）に川崎市黒川青少年野外活動センターと共催で防災講座を開催しました。

上は70歳代、下は2歳までの9組28名の方々にご参加いただきました。みなさま、ありがとうございました！

● 第1部：麻生区役所危機管理担当 川口さんによる講話

川崎市では、日ごろからの防災対策として「おうちキャンプ」と「ローリングストック」の実践を推奨しています。今回は、麻生区役所より危機管理担当の川口さんを講師に招いて、「わが家の防災ハンドブック～麻生区版」をテキストとして、自助共助公助、自宅での防災対策の考え方、おうちキャンプとローリングストック、避難所の備蓄状況など、大変役に立つお話をいただきました。



危機管理担当の川口さん

小さいお子さんには、講義中飽きないように、市の防災絵本「ダイジシーンからのおねがい」が配られるなど、細やかな気の配り様はさすがです。それと、お土産として、市のエコバッグも提供いただきました。ありがとうございました！

「市の被害想定から算定した避難所1カ所当たりの水・食糧備蓄量は概ね300人分程度」という、衝撃の内容(はるひ野と黒川の人口は合わせて1万1千人!)もあり、自主防災メンバーとしても、自宅での備えがいかに大切かを考えさせられました。

● 第2部：黒川青少年野外活動センター 野口所長による火起こし体験

センター所長の野口さんは、NHK Eテレ「キッチン戦隊クックルン」でアウトドアの達人として何度も出演するなど、実はアウトドア界のレジェンド的存在です。野口さんからは、最近注目されているアウトドア活動「ブッシュクラフト」のスキルを元にした、ナイフを使って薪を作る方法、薪を焚き付けに加工する方法、メタルマッチと麻縄で火を起こす方法などを伝授していただきました。



所長の野口さん

いざ始めてみると、小さなお子さんも親御さんも、ナイフとメタ



ルマッチを上手に使って、火を起こすことができました。最近では庭での焚火はなかなかやりづらくなってしまいましたが、焚火を眺めているだけで、なぜか気持ちが落ち着きますから不思議なものです。

さて、無事に火が起こせた後は、お待ちかねのもぐもぐタイムです。野外かまどに火を移して鍋でお湯を沸かし、家に備蓄していたレトルト食品等を試食してみました。王道のカレーをはじめ、おしゃれにリゾット、食後のコーヒーから焼き芋まで、メニューは様々。子どもたちが「おいしい！おいしい！」と喜んでくれていたことは、主催者としても嬉しい限りです。カップラーメンをコンビニまで買いに走ったお父さんもいました。その気持ちよくわかります。外で食べるカップラーメンは、どうしてあんなに美味しいのでしょうか笑？

「防災防災と肩肘張らずに、アウトドアの知識を楽しく得て実践することが、いざという時の災害対策にもつながるのだよ」、という野口さんの言葉が、自主防災メンバー的には一番刺さりました。みなさん、アウトドア活動していますか？

● まとめ

災害時にわざわざメタルマッチを使って火を起こす必要はないかもしれません。しかし、もし全てのライフラインが止まってしまった時、家族に温かい食べ物を提供するにはどんな備えが必要なのか、水は？食料は？熱源は？調理器具は？お隣さんとの関係は？…など、参加者のみなさまには、焚火の香りとともに何かしらの気づきを持ち帰っていただければ、自主防災組織としてこれ以上の地域防災活動はないと考えています。



今後も自主防災組織では、行政や周辺の団体、施設と連携し、様々なプログラムを提供していきたいと考えていますので、どしどしご参加ください。自主防災組織のメンバーも随時募集しています！(mailto:haruhino.bousai@gmail.com)

● 川崎市黒川青少年野外活動センターについて(おまけ)

本イベントは、黒川青少年野外活動センターのブログでも紹介されました。

<https://note.com/kurokawayagai/n/n99d1136585a9>

(🔍どんぐり山通信 2022年2月12日)

はるひ野から徒歩圏内に、気軽に楽しいアウトドア施設があることを意外とみなさん知らないようですので、散歩がてらに是非いちど遊びに行ってみてください！散歩や見学だけでももちろん予約はいりません！（メタルマッチや野外かまど等の備品や集会室や炊事場等の施設を利用する場合は、4人以上のグループでの予約が必要です。）

<http://www.kurokawa-yagai.com/>

(🔍川崎市黒川青少年野外活動センター)